

宇管工が新春賀詞交歓会

情熱・活力・変革の年へ



中村理事長

宇都宮市管工事業協同組合（中村勝理理事長）は23日、宇都宮市のホテルニューイタヤで2026年新春賀詞交歓会を開催した。高橋克法総務副大臣、船田元衆院議員、田中成興副市長、大竹信久市上下水道事業管理者、熊本和夫、馬上剛両市議ら多くの来賓、協力企業、組合員から約130人が出席。丙午のごとく

活力あふれる組合の取り組みを誓った。中村理事長は「市では災害に強い強靱なまちづくりを進めている。組合でも災害への備えに継続的に取り組

組み、水道管の耐震化に向けて老朽配水管更新事業や緊急配水管などの修繕工事にも積極的に協力していく。2026年の干支は丙午。情熱・活力・変革が大



熊本市議



船田衆院議員



高橋副大臣



田中副市長



野澤会長の発声で乾杯

きなテーマとなる年。組合が活力を得てますます発展繁栄し、最重要事業の資材販売の推進をはじめ新規事業、災害時応援体制のより一層の充実、さまざまな社会貢献活動にも積極的に取り組んでいく」とあいさつ。

船田衆院議員は「下水道関係を含め、施設の老朽化が非常にクローズアップされている。26年度から新たな国土強靱化計画がスタートするが、その中で老朽化対策が重点を占めなければいけない。皆さんの仕事が一層の充実、さまざまな社会貢献活動にも積極的に取り組んでいく」と述べた。

熊本市議は「公衆衛生である上下水道は市民の定住、生活に直結する仕事。市がこの事業を行っていく上で組合の皆さんの力が必要。意見を伺いながら、皆さんの事業をしっかり支えていく」と語った。

田中副市長は「老朽管の更新事業を着実に推進する。安全安心な水をつくり市民に届けるためには、組合の豊富な知識と技術、経験が必要」と協力を呼びかけた。

高橋総務副大臣は「これからも法改正を進めていき皆さんに利益が出る体系をつくっていく。地方をしつ



宇都宮市出身の博士氏がマジックを披露

計事務所協会副会長らが出席した。野澤会長の発声で乾杯。祝宴の余興では宇都宮市出身でマジシャンの博士氏がパフォーマンスを披露。活気あふれる中、参加者は親睦を深めた。

来賓にはこのほか黒澤敏男組合顧問、和田均県管工事業協同組合連合会長、野澤充広宇都宮建設業協会会長、山崎良知県建築士事務所協会会長、澤田守典設備設